

特別企画

男子校・女子校 の魅力

～ 海外生・帰国生を歓迎する14校～



昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校

多様な学びの選択肢として見直される「男子校・女子校」

価値観や生き方が多様化する現代において、学校選びにも「子どもに合った学びの環境」を求める傾向が強まっています。少子化や共学化が進む一方で、男子校・女子校は独自の教育理念や高い進学実績を背景に、今なお多くの家庭から支持を集めています。

思春期という人格形成の重要な時期に、同性のみの環境で学ぶことにはどのような意義があるのでしょうか。本特集では、国際的な教育データや進路選択の傾向を手がかりに、男子校・女子校ならではの教育的価値を探るとともに、各校の特色ある取り組みをご紹介します。

さらに、長年にわたり男子校・女子校の校長と対談を重ねてきたSAPIX YOZEMI GROUP 共同代表 高宮 敏郎 氏に、男子校・女子校の魅力や可能性、そして保護者が学校選びで大切にしたい視点について伺いました。



東京都市大学付属中学校・高等学校

男女の特性を踏まえた教育環境を考える

国際学力調査では、読解力は女子が優位である一方、数学や理科では男子が優位という傾向が多くで見られています。一方で、その差は固定的な能力差ではなく、学習環境や自己肯定感、社会的な期待など複数の要因が影響していると考えられています。

こうした背景から、男女それぞれの発達段階や心理的特性に配慮した教育のあり方にも関心が高まっています。男子校・女子校は、その一つの選択肢としてどのような役割を果たしているのでしょうか。



白百合学園中学高等学校

OECD学習到達度調査(PISA 2022) 男女別 スコア

2022年	日本		シンガポール		OECD平均	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
読解力	508点	524点	533点	553点	464点	488点
数学	540点	531点	581点	568点	477点	468点
科学	548点	546点	565点	558点	485点	485点

※PISA2022… Student Assessment (PISA) by OECDのデータを元にSpringで作成

TIMSS (Trends in Mathematics and Science Study) 男女別 スコア推移

中2数学	2015		2019		2023	
	日本	国際平均	日本	国際平均	日本	国際平均
男子	585	480	595	488	601	481
女子	588	483	593	491	588	475

中2理科	2015		2019		2023	
	日本	国際平均	日本	国際平均	日本	国際平均
男子	570	481	575	485	563	477
女子	571	491	565	495	551	480

※TIMSS… 国際教育到達度評価学会(IEA)による初等中等教育段階の児童生徒の算数・数学および理科の到達度を測定する国際調査。1995年より4年に一度実施。



逗子開成中学校・高等学校



開成中学校・高等学校

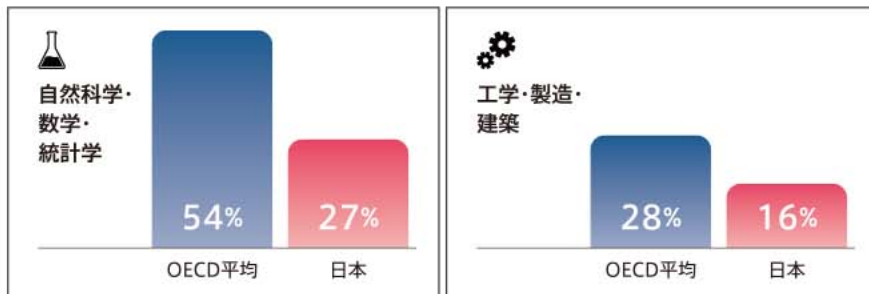


清泉女学院中学高等学校

理系進学男女差から見える教育課題

大学の専攻分野には依然として男女差が見られます。文部科学省のデータによれば、工学や理学では男子学生の割合が高く、人文科学や教育、保健系では女子学生の割合が高い傾向にあります。しかし、こうした進路選択の違いは、学力差で説明できるものではありません。特に日本は、理工系分野の女性の進出がOECD諸国で最下位であるため、生徒が性別を意識することなく興味や適性に応じて進路を選択できる環境づくりが求められています。

高等教育機関における分野別入学者に占める女性の割合



出典: OECD「図表でみる教育 (Education at a Glance) 2023」

難関大学・医学部で存在感を示す別学校

共学化が進む一方で、男子校・女子校は難関大学や医学部への高い進学実績を維持し続けています。首都圏の医学部合格実績ランキングでも、多くの別学校が上位に名を連ねており、その教育力への評価は依然として高いものがあります。

こうした実績は単に別学であることだけで説明できるものではありません。しかし、生徒一人ひとりが性別による役割意識にとらわれず、自分の興味や適性を伸ばせる環境や、同性の先輩・教員を身近なロールモデルとして描ける環境は、別学ならではの特徴として注目されています。



医学部進学が多い女子校に聞く「特色ある教育」とは

白百合学園は、地球社会が必要としていることに自ら気づいて主体的に生き、人のために役立てる心と力を育むカトリックの女子校です。生徒たちは命の尊さを実感し感謝して生きるからこそ、命と健康あってこそ人間として、健康と命を守る手助けをしたいという志を持つ生徒が多く、医学部進学者が増えています。「祈る心をもった医師」となる卒業生が沢山いることを感じます。中学生から理科の授業で実験が多いことに加え、探究的な学びとして大学の先生方の出張講座を受けたり、大学病院の研究室を訪ねて専門分野について学んだり、女性としてのキャリアプランを考えたりと、多くの学びの機会があります。



白百合学園
中学高等学校

〒102-8185
千代田区九段北 2-4-1

帰国生の割合	約5%
英語クラスについて	
中学1～3年生までは、帰国生の取り出しクラスあり。高校生は、一般生、帰国生混ざって習熟度別クラスとなる。	

共学には、多様な価値観や背景を持つ仲間と学び合いながら、社会で求められる協働力を育める魅力があります。一方で、思春期という多感な時期に、同性のみの環境で自分の興味や適性と向き合い、性別による先入観にとらわれることなく可能性を広げられることが、別学の大きな特徴です。

共学が別学かに正解はありません。大切なのは、その子が自分らしく学び、挑戦し、成長できる環境かどうか。学校選びの選択肢の一つとして、改めて男子校・女子校の可能性に目を向けてみてはいかがでしょうか。

(学校掲載は五十音順)

女子校

大妻多摩中学高等学校

◎ <https://www.otsuma-tama.ed.jp>
東京都多摩市唐木田 2-7-1



全校生徒に対する海外生の比率	4.2%
英語習熟度別クラスの有無	有(全年生)

「帰国生は大切な個性の一つ」と感じられる環境

本校では、国際教育・科学教育・教養教育の3つを柱に授業を展開しています。英語は5ラウンドシステムを展開し能動的な授業を行います。理科は5つある理科実験室で多くの実験を実践し、教科書の内容を体感できます。2027年度からはさらに探究心を深める取り組みをしていきます。「自立自存・寛容と共生・地球感覚」を教育理念とし、帰国生が自分らしく過ごせる環境を提供して、自分のやりたいことに全力で挑戦できます。

男子校

海城中学高等学校

◎ <https://www.kaijo.ed.jp/>
東京都新宿区大久保 3-6-1



全校生徒に対する海外生の比率	約11%
英語習熟度別クラスの有無	有

特別講座では男子校ならではの視点で議論を展開

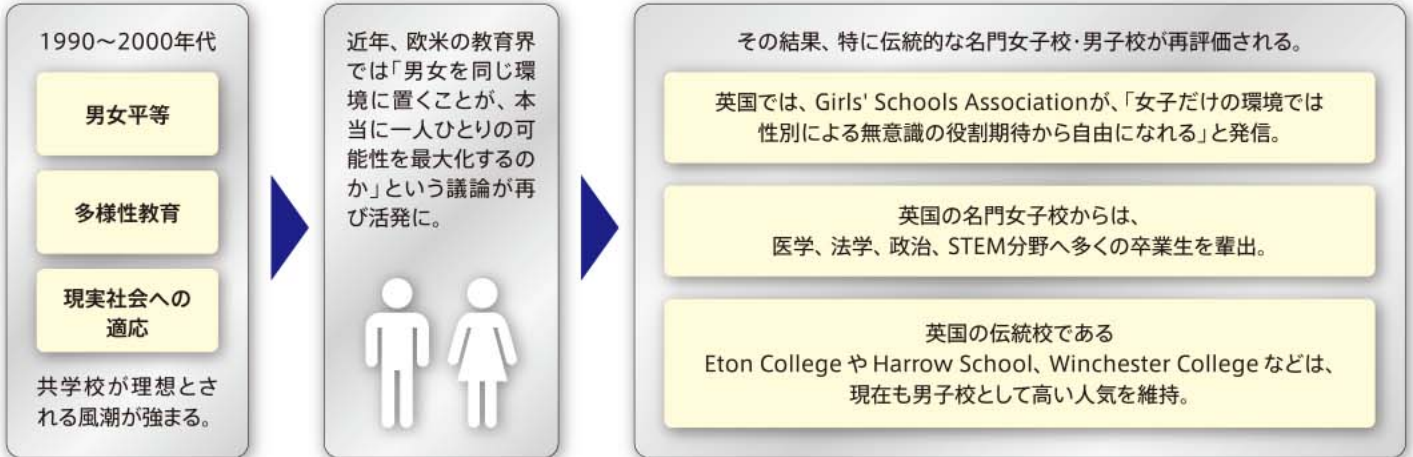
課外の特別講座「KSプロジェクト」は、生徒の「とがった」興味関心を深掘りする学びの場となっています。その一つ「SDGsゼミ」では、持続可能な開発目標 (SDGs) について議論・研究しています。国連大学のシンポジウムでは、本校生徒が男子校ならではの視点で「ジェンダー平等の提言」を発表しました。多様性の時代を生きていくために、広い視野と深い見識を身につけるための活動を行っています。

世界の教育は「共学一択」ではない



～欧米トップ層の「男女別学教育」の再評価～

欧米では共学化が進む一方、伝統ある男子校・女子校は「教育効果の最大化」のために依然としてエリート層から高い支持を集めています。近年は学力だけでなく、自己肯定感やリーダーシップ、主体性の育成という観点から別学を戦略的に選ぶ動きが再評価されているようです。特に女子校は、STEM分野や社会的リーダー育成の場として注目されており、「男女を分ける教育」ではなく「可能性を最大化する教育環境の一つ」として捉え直されています。



女子校が注目される理由

研究では以下が報告されている。

- 女子の学業成績向上。
- リーダーシップへの挑戦。
- 発言機会の増加。
- 理数系科目への自信向上。

実際に、国内外の著名な女性リーダーの経歴を見てみると…



海外の事例(アメリカ・イギリスなど):

- アメリカの歴代女性国務長官: マデレーン・オルブライト、ヒラリー・クリントンなどの多くは名門女子大出身。
- イギリスの元首相: マーガレット・サッチャーも女子校出身。

日本の事例:

- 元国連難民高等弁務官: 緒方貞子氏
- 国連開発計画(UNDP) 勤務経験: 猪口邦子氏
- 日本航空 代表取締役社長執行役員 鳥取 三津子氏
- 株式会社ディー・エヌ・エー代表取締役社長会長 南場 智子氏

日本国内でも、国際機関(国連など)で活躍する女性や、外資系企業のトップ、外交官、あるいは起業家としてグローバルに活躍する女性に女子校出身者が目立つ。

男子校が注目される理由

男子校は、男子特有の成長スピードや興味・関心に特化した教育ができる点が最大の強みです。

格好をつける必要のない「心理的安全性」:

- 異性の目を気にせず、自分の好きなこと(アニメ、鉄道、ディープな研究、あるいは部活の練習など)に100%没頭できる環境。
- お互いの「オタク気質」や不器用さを認め合える、生涯の友(一生モノのネットワーク)ができる。

感情の言語化と精神的自立:

- 女子の精神年齢の高さに圧倒されることなく、男子のペースでじっくりと成長を待ってもらえる環境。コミュニケーション能力を自発的に育てるプロセス。

つまり、一定の支持がある理由は…

- 思春期男子の発達段階に合わせやすい
- 競争心を健全に活用できる
- 学習への集中度を高めやすい

また、表現力や対話力、協働力を育てる教育が行われていることも多い。



AI時代のリーダーは、男子校・女子校から生まれる?!

AIが知識を代替する時代に必要なのは

- 主体性
- 発信力
- リーダーシップ
- 探究力

男子校・女子校では

以下の役職を同性の生徒が担うため…

- 生徒会長
 - 部長
 - 文化祭実行委員長
- 挑戦の機会が多い



海外生・帰国生ならではの視点

多様な国籍や文化、宗教的背景を持つ人々とともに学ぶ環境で育った海外生・帰国生にとって、日本の「別学」は一見すると新鮮な選択肢に映るかもしれません。しかし、だからこそ見えてくる別学ならではの価値があります。



● 教育の多様性としての別学

多様性 (Diversity) とは、さまざまな価値観や選択肢が存在することでもあります。共学が主流となりつつある中で、あえて男子校・女子校という環境を選ぶことは、教育の多様性を尊重する一つの選択といえるでしょう。性別にとらわれず、自分らしい興味や可能性を追求できる環境として、別学ならではの魅力が見直されています。

● 帰国後のソフトランディングを支える環境

帰国生の中には、日本語でのコミュニケーションや日本独特の人間関係、いわゆる「空気を読む文化」に戸惑う生徒も少なくありません。別学では、異性の目を過度に意識することなく学校生活を送れるため、まずは「安心して自分らしさを発揮しやすい」と感じるお子さんもいるようです。新しい環境への適応にエネルギーを要する時期だからこそ、同性の仲間にも囲まれりそのままの自分を受け入れられる環境は、自分の居場所を見つけながら学校生活に馴染んでいく上での支えとなるでしょう。

海外で培った多様な価値観を大切にしながら、自分自身と向き合う時間を持つことができる。——それもまた、帰国生にとっての別学の価値の一つなのかもしれません。



佼成学園中学校・高等学校



大妻中野中学校・高等学校



海城中学高等学校

女子校

大妻中野中学校・高等学校

◎ <https://www.otsumanakano.ac.jp/>
東京都中野区上高田 2-3-7



全校生徒に対する海外生の比率	10%以上
英語習熟度別クラスの有無	有

帰国生が伸びのびと過ごせる環境

「帰国生が異文化体験から得た特性を伸ばさせる」「帰国生と一般生とを相互に啓発させる」という教育を掲げて24年。海外経験の有無に関わらず「アドバンスコース」と「グローバルリーダーズコース」の2つのコース間で変更も可能なため、帰国生と一般生が一緒になって一つの学校環境を作っています。女子校だからこそ、個々の生徒が一層自分らしさを発揮することが魅力です。

男子校

開成中学校・高等学校

◎ <https://kaiseigakuen.jp/>
東京都荒川区西日暮里 4-2-4



全校生徒に対する海外生の比率	中学	約2%	高校	約4%
英語習熟度別クラスの有無	無(課外特別授業あり)			

学校行事の多くを生徒自身の企画・運営で実施

運動会や文化祭、部活動の多くは、生徒が主体となって企画・運営しています。たとえば文化祭ではクラス、部・同好会、有志団体などが企画を出展・実演します。場所・時間を取りまとめるのが文化祭準備委員会です。この委員会は、当日配布するパンフレットの作成や来場者の誘導・トラブル対応なども行います。中学生と高校生が一体となり、先輩が後輩を指導しながらその伝統を引き継ぎ、また新しいものを生み出す循環のなかで、自主自律の精神やリーダーシップが養われます。

女子校

昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校

◎ <https://jhs.swu.ac.jp/>
東京都世田谷区太子堂 1-7-57



全校生徒に対する海外生の比率	中学	10%	高校	8%
英語習熟度別クラスの有無	有			

グローバルな環境で「可能性」を伸ばす

本校には25のクラブがあり、その中心は高校1年生が担っています。上級生・下級生を取りまとめる経験から、社会でたくましく生きていくための「コミュニケーション力」や「調整力」が養われています。中高部の隣には英国系インターナショナルスクール、同一敷地内には米国ペンシルベニア州立大学ジャパンキャンパスがあり、グローバルな環境の中でさまざまなことに挑戦することができます。本校にはあなたの持つ「素晴らしい可能性」を伸ばす環境があります。

男子校

佼成学園中学校・高等学校

◎ <https://www.kosei.ac.jp/boys/>
東京都杉並区和田 2-6-29



全校生徒に対する海外生の比率	中学	10%	高校	8%
英語習熟度別クラスの有無	有(別途取り出し授業も設置)			

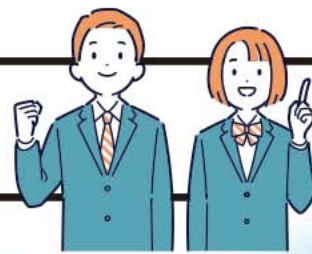
誰もが輝ける場所がここに

シャイな子も元気な子も集まる本校には、教員と生徒が本音で話せる環境があります。男子特有の「オタク気質」は未来の可能性のサイン。自分の興味を極めスペシャリストへと成長します。ある生徒はアニメをきっかけに「河童伝説の多様性はどのようにして生まれたのか」を研究し、高校生国際シンポジウムでグランプリを獲得。「Global Link Singapore」への推薦資格が与えられました。多くの同性の仲間の中でじっくりと自分づくりができるのが本校の魅力です。



灘中学校・高等学校

男子校



女子校

男子校の良さ

一人ひとりの「居場所」があって、**伸びのびと好きなことに没頭できる**仲間と時間と空間がある。そして新しいことにチャレンジしようとする時背中を押して「伴走」してくれる友人と先生が必ずいる。

(海城中学高等学校)

男子校には、**周囲の目を気にすることなく、それぞれが自分の興味を持てる分野に没頭できる環境がある**。それは、自身の将来を決定するかもしれない「何か」を発見する貴重な6年間となる。

(東京都市大学付属中学校・高等学校)

男子校は、**個々の特性や意思に応じた役割分担がなされるため自分自身の趣味や特技、特性を生かした活動をしやすい環境がある**。自己を育てる、自己肯定感を育む、リーダーシップ能力を育成する機会が多くなる。

(開成中学校・高等学校)

素の自分でいられるため、**伸びのびと自分の「好き!」をとことん伸ばせる環境がある**。

(佼成学園中学校・高等学校)

ティーンエイジという多感な時期を、胸襟を開いて語り合い助け合いながら過ごす中で、**一生の親友関係が育まれる**。

(灘中学校・高等学校)

男子校では、「**自分らしさ**」を安心して表現でき**本音で語り合える仲間**たちが、支えや刺激になってくれる。

(逗子開成中学校・高等学校)

男女別学校の良さ

思春期に男女の特性に合った教育方法によって力を伸ばしつつ、行事などは協働することで**男女に対する社会のバイアスを相対化する環境がある**。

(桐光学園中学校高等学校)

女子校

清泉女学院中学高等学校

◎ <https://www.seisen-h.ed.jp>
神奈川県鎌倉市城廻 200



全校生徒に対する海外生の比率	約4.8%
英語習熟度別クラスの有無	有

湘南の自然豊かな環境で「心」と「生きる力」を育む

「さまざまな価値観や文化の理解は、他者へ共感を育て周囲の人々へ喜びをもたらす心を育む」という創立者の思いのもと、グローバルな視点を含む多様なプログラムを展開。また、カトリックの精神に基づき生徒が確かな自己肯定感を確立し、人生における自らの使命を探究していく過程を大切にしています。教科の枠を越えたアクティビティは、「知識」が「知恵」に変わる機会。挑戦を後押しする環境で、生徒たちの個性を伸ばしていきます。2027年度より高校募集を開始。

男子校

逗子開成中学校・高等学校

◎ <https://www.zushi-kaisei.ac.jp/>
神奈川県逗子市新宿 2-5-1



全校生徒に対する海外生の比率	中学	約7.5%	高校	約8.5%
英語習熟度別クラスの有無	有			

海を通して自分と世界を学ぶ

「海洋人間学」は、目の前に広がる海や自然を生かした「海と人との関係」について学ぶ教科横断型総合教育活動です。ヨットの製作・帆走や遠泳実習では常に変化する自然を相手に臨機応変に対応する力や困難に立ち向かう勇気、仲間と成し遂げる協調性を育みます。学問的にもさまざまなアプローチができる海は探究学習の恰好の舞台としても活躍。生徒たちは海岸でフィールドワークを行い、オリジナルの講座を企画します。

女子校

武庫川大学附属女子中学校・女子高等学校

◎ <https://jhs.mukogawa-u.ac.jp/>
兵庫県西宮市枝川町 4-16



全校生徒に対する海外生の比率	高等学校で各学年に数名程度			
英語習熟度別クラスの有無	中学	無	高校	無

新たな武庫女の歴史がはじまる!

2027年4月より「武庫川大学附属女子中学校・女子高等学校」に改名します。約40あるクラブ活動と勉強を両立し、文理の枠にとらわれない授業選び。大学と連携した探究活動やアメリカ、オーストラリア、ヨーロッパへの海外研修や短期交換留学の充実など、大学附属校ならではの取り組みが本校の魅力です。思春期を女子校で過ごし、共学化された大学でその経験を生かし、社会に自信を持って飛び立つ武庫女生の新たなライフデザインにご期待ください。

男子校

灘中学校・高等学校

◎ <https://www.nada.ac.jp/>
神戸市東灘区魚崎北町 8-5-1



全校生徒に対する海外生の比率	約2~3%
英語習熟度別クラスの有無	無

ジェンダー・バイアスがない環境で真のpeer教育が実現

「精力善用・自他共栄」の校是の下、生徒の自主性・主体性を涵養する校風の中で、先輩・後輩の絆が強く、生徒同士が助け合い教えるpeer教育が実践されています。中でも文化祭は外部に公開する本校最大のイベントで、企画立案から実施まですべてが生徒主導です。男子校ゆえに誰もがいろいろな役割を分担しなければならず、ジェンダー・バイアス解消という視点で大きなメリットがあると感じています。

それぞれの **良さ** とは？



大妻多摩中学高等学校

女子校の良さ

女子生徒しかないことで、**自分らしさを伸びのびと表現できる**。結果として社会に出て自分の考えをしっかりと発信できる。

(大妻中野中学校・高等学校)

個性を尊重し、伸びのびと学ぶことができる。**さまざまな生徒たちにとって居心地の良い場所や雰囲気がある**。

(武庫川大学附属女子中学校・女子高等学校)
※2027年4月より校名変更

異性を気にせずさまざまなことにチャレンジすることができ、自分の可能性を広げるチャンスに出会える。

(昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校)

リーダーの取りまとめや力仕事、細やかな心遣いなど、「**私らしさ**」を生かしながら「**私を超えたチャレンジ**」の機会がある。

(白百合学園中学高等学校)

女子しかないため、性差を意識せず自分の「好き」に没頭できる。理科の授業では多くの実験を行うため理科好きが多く、**毎年4割程度が理系を選択**。英語が得意で理系を選択する生徒が多い。

(大妻多摩中学高等学校)

同じ興味・関心を持つ人同士が団結でき、**リーダーシップやフォロワーシップが養われる**。

(豊島岡女子学園中学校・高等学校)

精神的に成長が早い女子にとって、一人の「ひと」として自分を客観的に捉えていくことができる環境。社会一般通念にとられない視点を持てる。

(清泉女学院中学高等学校)

女子校 豊島岡女子学園中学校・高等学校



◎ <https://www.toshimagaoka.ed.jp/>
東京都豊島区東池袋 1-25-22



全校生徒に対する海外生の比率	約1% (帰国3年以内)
英語習熟度別クラスの有無	有(中1と高2・3の一部)

伝統を守りつつ、新しいチャレンジ

70年以上続く「毎朝5分の運針」は、集中力を高め無心に努力を積み重ねる大切さを身をもって知る場となっています。最近では「志力を持って未来を創る女性の育成」を目指し、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校として探究活動に力を入れ、国際的な広い視野を育むグローバル教育も盛んです。また、キャリア教育の一環として卒業生インタビューなどを行っています。何にでも本気で打ち込み、互いに切磋琢磨して成長していく雰囲気があります。



桐光学園中学校・高等学校

男子校 東京都市大学付属中学校・高等学校



◎ <http://www.tcu-jsh.ed.jp/>
東京都世田谷区成城 1-13-1



全校生徒に対する海外生の比率	約16%
英語習熟度別クラスの有無	有

主体的に考え表現する学習

中学では週1回、3年間で約60テーマにおよぶ「科学実験」を行い、その都度レポートを提出します。高校1年時の「中期修了論文」では、1年間に渡る指導を経て論文を執筆し、プレゼンテーションを行います。論理的思考力と表現力を磨くための取り組みは、数多くの大学の入試形態にしっかりと対応したカリキュラムです。本校の生徒たちはお互いを尊重しつつ、積極的に意見を出し合いながら、主体的に学んでいきます。

男女別学校 桐光学園中学校・高等学校



◎ <https://www.toko.ed.jp/high/>
神奈川県川崎市麻生区栗木 3丁目12番1号



全校生徒に対する海外生の比率	中学 6% 高校 9% 全体 8% (学年によっては12%)
英語習熟度別クラスの有無	無(帰国生は英語取り出し授業)

充実した環境のもと理解のプロセスに応じた教科指導を实践

発達段階では男女で理解の仕方が異なるため、最適な教育方法を各教科で実践しています。物理では女子の場合、教員と一緒に問題を解く授業が求められる一方、男子は問題に自由に取り組んだ後に教員が解法を教授することで理解度が上がる傾向があります。運動部20種、文化部28種の部活動、基礎から大学別入試対策まで600超講座の講習制度、イートン校・ケンブリッジ大での留学や北米の高校の卒業資格取得のダブルディプロマ、グローバル併願なども用意しています。

～ステレオタイプを飛び越え、 我が子に最適な「空気感」に出会う～



Q 男女別学を選ぶ場合、どのようなお子さまに向いているのでしょうか、傾向や特性について教えてください。

「この子は別学(男子校/女子校)に向いている」「この子は共学校向きだ」という適性を、小学生の段階で親が明確に見極めるのは非常に難しいのが現実です。子ども自身が「共学がいい」「男子校/女子校は嫌だ」と口にすることはあっても、それは食わず嫌いのようなものであるケースが多く、本質的な相性とは限りません。

学校選びにおいて親御さんにぜひ意識していただきたいのは、文化祭や運動会といった華やかなイベント時の姿だけで学校の雰囲気判断しないことです。これらは特別な舞台であり、学校の日常とは異なります。本当の相性や校風を見極めるためには、何気ない「普段の登下校の様子」や、日常の生徒たちの振る舞いに目を向けることが一番のヒントになります。

例えば、ある男子校の生徒たちが、混雑したコンビニで周囲がイライラするような場面に直面した際に、非常に上品かつスマートにトラブルを注意したシーンを目撃したことがあります。大人の目から見ても感心するような「大人の一面」や、その学校が持つ真の品格は、こうした日常のワンシーンにこそ現れます。世間の評判や親の思い込みにとらわれず、大きなイベントではない時の生徒たちがまとっている空気感を肌で感じるからこそ、後悔のない学校選びへの確かな第一歩となるでしょう。

Q 近年、女子校から理系の人材が多く育っていると聞かれますが、その背景にはどのような環境があるのでしょうか。

世の中には「女子だから」「男子だから」というステレオタイプやジェンダーバイアスが根強く存在します。共学の環境では、こうしたバイアスによって無意識のうちに子どもたちが特定の進路へと誘導されてしまう危険性があります。

しかし、女子校をはじめとする別学環境の最大のメリットは、こうしたバイアスから自由になれる点にあります。今までは女子が少数派だった理系分野でも、自分が本当にやりたい学問を純粋に選択できる環境が整っています。結婚や出産などのライフイベントを見据えて、資格職として復職しやすい医学部を目指す生徒が難関女子校に多いのも、こうした環境だからこそ、現実的かつ高い志をのびのびと育めるからだとと言えます。

また、男子がいない環境では、生徒会長も力仕事もあらゆるプロジェクトのリーダーもすべて女子が担わなければなりません。性別による役割の振り分けが一切なく、リーダーシップを執る機会が必然的に多くなります。歴代の日本人女性宇宙飛行士(向井千秋さん、山崎直子さん、米田あゆさん)やその女性候補者の多くが女子校出身であるという事実は、別学が持つ「キャリアの枠を取っ払う力」を何よりも雄弁に物語っているのではないのでしょうか。

Q 男子校・女子校における教育方針や指導方法には、どのような特徴があるのでしょうか。

学び方や精神的な成長のプロセスにおいて、男女の特性の違いに合わせた最適な指導ができるのは別学の大きな強みです。例えば、女子の生徒は十分に納得してから次に進む傾向があるのに対し、男子はまずは一旦進んでみて後から「なるほど」と理解を深めていくといった、学び方の特性の差を、共学化した男子校のベテラン教員からお聞きしたことがあります。別学であればこうした男女差に合わせた「授業の進め方」に基づき、カリキュラムや声掛けを展開できます。

さらに男子校のメリットとして、男子しかいないからこそ体力的な面も含めて多少の「無理や雑さ」を共有できる良さがあります。修学旅行先でトラブルが起き、急遽空港のソファで一晩を明かさなければならないような突発的な事態でも、男子だけだからこそ気を遣わずに乗り越えられるといった行事でのやりやすさもあります。

こうした環境で多感な中高の6年間に共に過ごした経験は、卒業後も色褪せません。例えば、全く異なる名門男子校の出身者同士であっても、初対面で「OS(オペレーティングシステムの略、ここでは価値観や行動様式)が同じだね」と瞬時に胸を開いて打ち解け合えるような、学校の垣根を越えた一生ものの連帯感や居心地の良さを育てられるのです。

Q 海外で育つ子どもたちに向けて、家庭での伸ばし方や関わり方で意識すべきことは何でしょうか。

家庭でのサポートにおいて重要なのは、大人の好みや「男の子らしさ・女の子らしさ」というバイアスを子どもに押し付けないことです。子どもが親の反応を気にして興味を持つフリをしているのか、それとも純粋にそれが好きなのかを見極め、たとえ世間のイメージ(男の子っぽい・女の子っぽい)と異なるものに興味を示したとしても、それを否定したり取り上げたりすべきではありません。

言語についても、「女の子の方が習得が早い」と感じる親御さんもいるようですが、バイリンガルになるのは男女どちらにとっても相当大変なことです。都内では小学校低学年で3言語の教育環境に置かれ、過剰な期待によって深いストレスを感じている子どももいると聞きます。子どもが自然と示す興味・嗜好や個性を温かく受け入れ、それぞれのペースに寄り添いながら付き合っていく姿勢こそが、子どもの可能性を最大限に伸ばすカギとなるのではないのでしょうか。